

(工事立会・試掘・確認調査) 結果通知書

- 1 埋蔵文化財包蔵地の名称及び県番号 富士山台遺跡 (県番号 3195)
- 2 所在地 宇都宮市上欠町1135 他
- 3 土地所有者 宇都宮市土地開発公社 理事長 金子達男 他 6名
- 4 調査の原因 斎場建設
- 5 事業主体者 宇都宮市
- 6 調査面積 19,800 m²
- 7 調査日 平成18年6月26日～平成18年7月31日
- 8 調査者 宇都宮市教育委員会(文化課 指導主事 大塚雅之)
- 9 遺跡の時代・種類 縄文・奈良・平安時代 集落跡
- 10 調査内容
 - (1) 調査方法 斎場建設に伴う確認調査を実施。対象区に試掘溝37本を設定し、重機により、表土を除去掘削し、確認を行なった。
 - (2) 調査結果
 - ・調査対象区のうち、露地の表土直下は認定外道路を含め、すべて粘土・砕石による埋立土であったため、遺構・遺物は確認されなかった。
 - ・調査対象区のうち、樹林地の表土直下は関東ローム漸移層で、ア8B4グリット内より遺構が2箇所確認された。遺構1は確認調査において記録保存を実施したが、遺構2については古墳であるため、本調査にて記録保存が必要である。それ以外の遺構・遺物は確認されなかった。
- 11 調査後の取り扱い

確認された古墳(遺構2)は造成の際、破壊されることになるので、記録保存を行なうこと。それ以外の調査対象区では、工事に着手して差し支えない。

なお、工事中に、今回発見されたもの以外に埋蔵文化財と思われるものを発見したときは、その現状を変更することなく、遅滞なく宇都宮市教育委員会に報告をして協議すること。

また、届出図面に示された工事の内容を変更する必要がある場合は、着工前・着工後にかかわらず、速やかに宇都宮市教育委員会と協議すること。
- 12 添付資料 確認調査試掘溝配置図・遺構確認状況写真

2021



46400